

重要取組シート

産業振興局 産業戦略部

中百舌鳥イノベーション創出拠点担当

取組項目	中百舌鳥を拠点としたイノベーション創出に向けた取組推進
現状・課題	【現状】 ○近年、特にコロナ禍以降において経済社会における価値観が大きく変化しており、ビジネスにおいては、社会課題解決、SDGs、ESG 等、持続的な社会と経済の発展に向けた取組が求められている。 ○全国的に事業所数が減少する中、新たな経済活動の担い手であるスタートアップ企業は、事業主体やスタイルが多様化しており、中でも、事業を急拡大させて株式公開や M&A をめざすスタートアップは、ベンチャーキャピタルによる資金調達など、金、人、情報などが集まる東京に一極集中しており、関西圏では大阪梅田に集まる傾向が強い。 ○中百舌鳥エリアは、大阪市中心部へのアクセス性に優れ、大阪公立大学のほか、さかい新事業創造センター（S-Cube）、堺市産業振興センター、堺商工会議所などの産業支援機関や日本政策金融公庫堺支店が立地し、スタートアップ・中小企業の着実な経営を支えており、イノベーションに資する新たなビジネスの創出の中心的役割が期待される。 ○近年、中百舌鳥エリアをイノベーション創出拠点と位置づけ、施策を強化しており、社会課題の解決など新たな価値創造に向けて取り組む起業家等が中百舌鳥に集まり、イノベーションの創出と支援のネットワークによるエコシステムが生まれつつある。 【課題】 ○首都圏や関西の中心部の特色を認識した上で、ゼブラ企業の創出促進など、中百舌鳥エリアの特色を踏まえたビジネスを創出すること。 ※ユニコーン企業が利益の最大化、急成長を志向する一方、ゼブラ企業は社会課題解決と経済成長の両立をめざし、持続的な繁栄をめざす。（2022 年中小企業白書） ○多様化するビジネスのスタイルに合わせ、民間企業や国、他の自治体・支援機関・大学等と連携した支援の充実を図ること。 ○中百舌鳥の持つイノベーションのポテンシャルを広く周知・発信し認知度を高め、域内外の多様な人・事業者・支援者の交流と共創を促進し、新たなビジネスの創出を活性化させること。 ○新たな技術や商品・サービス等の社会実装からイノベーション創出に結びつけるため、経営のためのリソースや知見が脆弱なスタートアップ等に対し、実証実験等の機会提供やビジネスモデルの確立などをサポートすること。 ○S-Cube を卒業する企業の多くが引き続き中百舌鳥エリアでの立地を希望しているが、同エリア内には、スタートアップ等のニーズに合うオフィスが不足しており、企業ニーズに合ったオフィスの整備を促進すること。 ○企業や大学が次世代クラスターの形成やイノベーション創出に取り組むための環境形成を図るべく、大阪公立大学や産業支援機関との研究・開発分野などにおける産学連携を強化すること。

取組の内容		○イノベーションにつながる事業を創出するため、社会課題・地域課題解決に資するプロジェクトの創出や実証・実装をはじめ、コミュニティ形成促進等に向けたワークショップやマッチング、ハンズオン支援等の施策など、スタートアップ企業、地域の中小企業、大学（研究者・学生）、次代を担う若者、支援機関、行政、市民の共創による取組を強力に推進する。 ■イノベーションを創出するコミュニティ形成の強化（交流・共創拠点、オンライン） ■社会課題解決するプロジェクト・ビジネスの創出支援 ■創業・スタートアップ創出育成支援（アクセラレーション／インキュベーション） ■スタートアップ実証促進／ベンチャー調達（実証と実装） ○メディアを活用し、イノベーションの事例や創出に向けた取組を広く発信することで、中百舌島のイノベーション創出拠点としての認知度を高める。 ■共感・共創のストーリーシートの作成・発信 など ○オフィスの集積によるイノベーション創出拠点の形成に向け、スタートアップ企業等がオフィスを新たに開設する際の賃料の一部補助や、スモールオフィスやフレキシブルオフィス、一定規模以上の賃貸オフィスビルの整備に対し、その経費の一部補助を実施するなど、オフィス需要が高い中百舌島地域において重点的に実施する。 ○大阪公立大学に堺市専属のコーディネーターを配置し、ワークショップやマッチングなどを通じて、大学の研究と市内中小企業の連携・協働による新たなビジネスやプロジェクトの創出に向け取り組む。 ○大阪府・市、堺市、大阪産業局、経済団体、大学等で構成する「大阪スタートアップ・エコシステムコンソーシアム」や、市長公室、建築都市局、民間企業等で構成する「NAKAMOZU イノベーションコア創出コンソーシアム」などを通じて、関係機関・組織と情報共有・協力し、イノベーション創出に向けた効果的な取組を進める。
スケジュール	前期 （～7月）	☐ スタートアップ支援事業等を実施（随時） ☐ 企業投資促進施策を総合的に実施（随時）
	中期 （～11月）	☐ スタートアップ支援事業等を実施（随時） ☐ 企業投資促進施策を総合的に実施（随時）
	後期 （～3月）	☐ スタートアップ支援事業等を実施（随時） ☐ 企業投資促進施策を総合的に実施（随時）
	次年度以降	☐ 効果検証を含めた事業展開を行う。
進捗の状況	前期 （～7月）	☐ 事務所開設、整備に対する補助金について、宅建業協会、不動産協会、及び不動産事業者へ随時周知（4月～）、金融機関説明会にて周知（6/11） ☐ 堺市内で実証事業を行うスタートアップの募集開始（5月～）

(様式 4)

	中期 (～11月)	☐ 小学生とその保護者を対象とした、市内事業者の商品・サービス体験できるイベントを開催(8月4日) ☐ アクセラレーションプログラムを開始(8月～) ☐ ベンチャー調達認定制度の募集開始(8月～) ☐ インパクトスタートアップ支援プログラムを開始(9月～) ☐ スタートアップ実証事業の支援企業決定、実証開始(9月～) ☐ 各プログラムの支援事業者が一堂に会し、イノベーション創出や共創に向けた連携・交流を行うラウンドテーブルミーティングを開催(9月30日) ☐ アントレプレナーシップ教育プログラムを実施(10月27日)		
	後期 (～3月)			
2025 堺市基本計画	該当する 施策	4- (4) 成長産業や新事業を生み出すイノベーションの創出		
	寄与する KPI	イノベーション創出につながる事業数[現状値: 74 件 (2015年度～2019年度の累計)]		目標値(2025年度) 100 件(2021～2025 年度の累計)
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 9	産業と技術革新の基盤をつくろう	
	寄与する KPI	-		目標値(2025年度) -